

令和6年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

1 評価の目的

国から補助を受けている地域公共交通確保維持改善事業について、日立市公共交通会議が、各事業の実施状況の確認や目標達成状況等の評価を行うことによって、補助対象事業がより効果的、効率的に推進されることを目的とする。

2 評価の対象（地域内フィーダー系統確保維持事業）

地域間交通を確保・維持する取組として、市内山間地域で地域間幹線系統に接続し、地域住民が設立した NPO 法人が運行する乗合タクシーと、事業者が独立採算で運行する幹線以外の南北バス路線（5 系統）

事業者名	No.	運行区域・路線
特定非営利活動法人 助け合いなかさと	1	中里地区（乗合タクシー「なかさと号」）
茨城交通株式会社	2	日立駅中央口～ケースデンキ日立店前～平和台霊園線
	3	おさかなセンター～サンピア日立～大甕駅西口（学園前）線
	4	おさかなセンター～サンピア日立～多賀駅前線
	5	おさかなセンター～久慈浜～多賀駅前線
	6	大甕駅西口（学園前）～水木（BRT）～多賀駅前線

3 評価の報告

自己評価（一次評価）結果を関東運輸局に報告し、その評価をもとに関東運輸局が二次評価を行う。

4 評価の概要

【利用人員の計画（数値）目標】

路線バス 1 便当たり利用者数 110%、地域公共交通 1 日当たり利用者数 110%
（いずれも市内全体の利用者数。令和 2 年度の利用者数を基準）

(1) 利用状況

ア 乗合タクシー、一般バス路線

No.	運行区域・路線	1日あたり乗車人数		令和2年度比
		R6	R2	利用人員比
1	中里地区 (乗合タクシー「なかさと号」)	14.4	13.7	105.1%

イ 一般路線バス

No.	運行区域・路線	1便あたり乗車人数		令和2年度比
		R6	R2	利用人員比
2	日立駅中央口～ケースデンキ 日立店前～平和台霊園線	24.6	22.9	107.4%

エ ひたちBRT路線

No.	運行路線	1便あたり乗車人数		令和2年度比
		R6	R2	利用人員比
3	おさかなセンター～ サンピア日立～大甕駅西口線	16.2	11.1	145.9%
4	おさかなセンター～ サンピア日立～多賀駅前線	21.4	17.9	119.6%
5	おさかなセンター～ 久慈浜～多賀駅前線	27.7	25.8	107.4%
6	大甕駅西口～ 水木～多賀駅前線	11.9	12.4	96.0%
ひたちBRT路線 (No.3～No.6の合計)		77.2	67.2	114.9%

(2) 事業の実施適切性

市内の南北軸路線の維持及び幹線バス路線との接続により、日常生活の移動ができる交通環境の維持・確保が図られた。中里地区においては、住民が組織するNPOが運行する乗合タクシーにより、地域の移動手段及び地域活性化に寄与した。平和台霊園線及びひたちBRT路線については、沿線企業への通学・通勤や交通結節点までの移動手段として、利用者の利便性を確保した。

(3) 目標・効果達成状況

人口減少・高齢化の進展等に加え、新たな生活様式の定着等の影響もあり、公共交通利用者数の目標値（令和2年度比110%）達成には至らなかったものの、各種利用促進策の展開により、利用環境向上や新規利用者の確保を図った。

(4) 自己評価

No.	運行区域・路線	事業実施 適切性	目標効果 達成状況	判定基準
1	中里地区 (乗合タクシー「なかさと号」)	A	B	A:計画目標を達成 B:計画目標を一部 未達成 C:計画目標未達成
2	日立駅中央口～ケースデンキ 日立店前～平和台霊園線	A	B	
3	おさかなセンター～ サンピア日立～大甕駅西口線	A	A	
4	おさかなセンター～ サンピア日立～多賀駅前線	A	A	
5	おさかなセンター～ 久慈浜～多賀駅前線	A	B	
6	大甕駅西口～ 水木～多賀駅前線	A	B	

(5) 事業の今後の改善点

ア (No. 1) なかさと号

- (ア) 中里地区の高齢者や運転免許を持たない方の移動手段確保継続
- (イ) 高齢者運転免許自主返納者に対する利用回数券の交付
- (ウ) 各種施設へのアクセス性・利便性向上

イ (No. 2) 日立駅中央口～ケースデンキ日立本店～平和台霊園前

- (ア) パートナースhip事業の継続・推進による利用促進活動の実施
- (イ) 沿線の企業、学校等に対する利用促進活動の実施
- (ウ) ひたち BRT への乗継ぎ等による利用促進・PR

ウ (No. 3～No. 6) ひたち BRT

サポーターズクラブとの連携による利用促進活動の継続